

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和9年度
前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25 字×40 行＝1000 字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも全て必ず提出すること。
5. 受験番号は全ての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答は全て解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙を別途配付するが、問題紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙及び下書き用紙は試験終了後回収しない。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語（横書き）で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

近年、生成 AI や検索サイトなどを通じて、私たちは大量の情報を容易に得られるようになりました。観光においても、行き先の選択、旅行計画の作成、口コミの確認、現地での行動などに、こうした技術が深く関わっています。一方で、情報を得ることが容易になるほど、人間が自ら考え、判断することの意味も改めて問われます。

観光に関する情報を利用する場面を具体的に想定しながら、技術によって支援される判断と、人間自身が担うべき判断との関係について、あなたの考えを論理的に述べなさい。